

令和6年栃木県議会 第401回通常会議

6月議会におきまして2度目の
一般質問で登壇をさせて
いただきました。



質問内容はこちらで
ご覧になれます。



○ 県民の生命を守る避難施設の確保

国は外国からの弾道ミサイル攻撃に備え地下施設などを緊急一時避難施設に指定する取り組みを進めていますが、地下施設は本県では16ヶ所にとどまっています。県南地域では小山市の1ヶ所と足利市の2ヶ所のみで、有事の際の対応を危惧しています。シェルター機能を備えた地下施設の整備は、国の動向を待つのではなく県民の生命を守るため、積極的に行動することを提言しました。



○ 小山・栃木都賀線の早期開通を

現在整備が進められている小山・栃木都賀線は、小山市中心部から栃木市の東部を経由し都賀ICに至る道路で小山市の重要課題である高速道路までの時間短縮につながる重要路線です。小山市立木地区から栃木市樋ノ口地区までの区間については現道の渋滞緩和や、栃木ICや都賀IC方面のアクセス強化などに大きな効果が期待されるため、卒島工区の早期開通を求めました。



○ 首都直下地震への対応について

首都直下地震は今後30年以内に70%の確率で発生すると予測されており、本県でも小山市を含む県南の6市1町が緊急対策区域に該当しています。そこで、東京圏の近隣県として本県が果たすべき役割、さらに今後発生が懸念される首都直下地震の緊急対策区域に該当している県南地域をその地震から守るため、早急な対策の検討並びに防災計画の策定を提言しました。



○ 専門性を高めるための 小学校高学年における教科担任制導入を

これまでの学級担任制は、児童との信頼関係の構築や、個性を踏まえたサポートを実施し成長を促進する上で重要な役割を果たしています。一方小学校高学年における教科担任制は、小学生の段階から複数の教科での専門性を持たせることが、学力向上への近道と思います。それぞれのメリットデメリットを踏まえ、教科担任制を含めた教育環境整備の促進を提言しました。



○ 若者からも選ばれる栃木を目指す <その他の質問項目>
人口減少や東京一極集中が進む中、若者や子育て世代の本県への移住を積極的に促進するよう提言しました。

○ 公有財産の利活用による財源の確保

多くの財源不足が見込まれる中、新たな財源確保は重要。未利用財産の貸付や売却、広告収入などを積極的に進め、新たな財源の確保を提言しました。

○ カーボンニュートラルの実現に向けたEVバス導入を

2050年とちぎカーボンニュートラル（脱炭素化）の実現に向け、公共交通の利用拡大や電動化の推進が重要。県内市町と連携しEVバスの導入促進を提言しました。

○ 格差のない教育環境の整備を目指して

GIGAスクール構想では教育ICT環境を整備しています。子どもたちが同じ教育を受けられるためにも各市町の予算規模で教育格差が生じないように提言しました。

活動報告



栃木畜産酪農センター視察



小山市水防訓練



小山市消防団夏季点検



野木町ひまわりフェスティバル



しらさぎ館まつり



小山市産業祭



子供達との「田んぼ教室」



しらさぎ館まつり



秋の彩りフェスタ

大木ひでのり プロフィール

昭和56年4月8日（小山市東黒田）生まれ

43才



- 平成 9年 地元の間々田東小、中学校卒
- 平成12年 栃木県立小山南高校卒
- 平成23年 小山市議会議員 3期
- 令和 5年 栃木県議会議員 初当選

栃木県議会議員

とちぎ自民党議員会

・経済企業委員会

・政務調査会
・建設商工部会
・生活保健部会

- ◆小山青年会議所 第49代理事長
- ◆小山市おもいがわ商工会 元青年部長
- ◆小山市／栃木県幼稚園PTA連合会 元会長
- ◆小山市消防団第8分団2部 班長

責任世代



HOME PAGE



facebook



Instagram

日々の活動更新中！